

# 悠久

第 49 号

September 2016

## 本号の内容

- |   |            |
|---|------------|
| ① 吉備中央町の中学生交流協働推進課                          | 難波 愛美      |
| ② STUDENT EXCHANGE 感想文 参加生徒                 |            |
| ③ 中国へのご案内<br>-[STUDENT EXCHANGE in 上海]のために- | 岡山商科大学 宮 偉 |

遼寧省永陵県・世界文化遺産「清永陵」



## 日中青年交流の継承・発展を



岡山県日中教育交流協議会

会長 岡本 啓

「悠久」の創刊号（平成十二年二月）には、日中教育交流の実態調査結果が掲載されている。「現在交流している」が三十二校、「今後交流したい」は九十一校に上る。こうした意向を受け、日中青年交流の「架け橋」となるろうと初代会長森崎岩之助先生を中心に関係者の訪問交流が重ねられ、やがて上海市の中学に「岡山友好文庫」を誕生させた。上海市人民対外友好協会や教育当局との信頼関係が築かれ、平成十七年、福武教育文化振興財団の支援を得て、上海市新中高級中学との英語による高校生交流という「夢が実現した」と記されている。

協議会設立十周年を迎えた特集号（平成二十一年三月）の実態調査では、「現在交流している」が十八校、「今後交流したい」は八校に減少した。新型インフルエンザの世界的流行が心配された時期だった。多忙になった学校から「これ以上の負担はできない」という現場の声が聞こえてくると、アンケートの分析にあった。

平成二十二年から交流先を大連市に移し交流を重ねたが、様々な要因により大連市からの招聘が困難になり、新たな交流先を求めることになった。

上海市人民対外友好協会等と先人が築かれた信頼関係があったことから、今年、新しい交流先となる上海市第一中学との協議の席でも、古い友人のように親身になって話しのまとめに協力していただいた。

十年ほど前と比較して、中国からの観光客は二十倍にもなり、日本を訪れる外国人のトップになっている。高校生の国際交流も盛んになり、アジアにも注目が集まる中で、中国の青年たちとの教育交流を担ってきた当協議会の活動が、より確かなものとして継続していけるよう、一つ一つの交流に「いねい」に心を配り、改善に努めていきたい。

岡山と中国の青少年が、相互訪問等による対話を通じて、自国と相手国の歴史・文化・生活などを学び合い、理解し合って友好を深め、国際性を身に付けた人間として大きく成長するお手伝いができればと考えている。

# 吉備中央町における 中国淮安市淮安区友好訪問団交流事業

吉備中央町協働推進課  
難波 愛美



歓迎会

吉備中央町は、戦後の日中国交回復に尽力された岡崎嘉平太氏の故郷であります。同じく尽力された、周恩来総理の故郷が江蘇省淮安市淮安区です。両自治体において、平成十年に友好提携協定書を結び、以後、親善交流生の相互派遣を行い、相互の友好の絆を深めています。本年度は、淮安区より中学生を招待し、五日間の行程で友好交流事業を実施しました。その内、三日間を吉備中央町で過ごす。



交流会

二日目は町内にある加賀中学校との交流会を計画しました。交流会では、まず、歓迎セレモニーということで両中学生が出

し、様々な方々との交流を行いました。八月一日に関西国際空港へ到着し、夜には町内で歓迎会を開催しました。総勢七十名の出席があり、大変盛り上がった歓迎会となりました。訪問団の中学生はホームステイ先の家庭との時初めて対面し、その後一緒に自宅へ帰る運びとなります。最初は緊張した面持ちでしたが、同じテーブルで会話を交わすことにより、次第に打ち解けたように感じました。また、昨年淮安区に訪問した生徒も招待していたので、一年ぶりの再会に笑顔がほころんでいました。



交流会

し物を披露しました。加賀中の吹奏楽部の演奏では、中国でも馴染みの曲だったみたいで、リズムに乗って楽しんでいました。その後、一緒にスポーツをすることで交流を図りました。視聴覚室に移動した後、加賀中学校の説明をしました。生活リズムにも違いがありました。驚いている生徒もいました。そして最後に、中国の「お守り」を一緒に作りました。午後は、岡崎嘉平太記念館の見学、お墓参りをしました。日中間の歴史について学び、この交流事業の意図を掴んでもらいたく計画しました。事業後の意見として、吉備中央町側の中学生も一緒に学んだら、より深い

理解が得られるのでは、という助言をいただきました。参考に次回につなげていきたいと考えております。

その後は、引率者の方々と一緒にホームステイ先を訪問しました。日本の家、暮らしに興味をもたれたようで、農業や風景についても多く質問されていました。

三日目は、吉備中央町国際化推進協会主催のおもてなし交流会に招待しました。テーマは「夏祭り」ということで、まず、浴衣の着付けを行いました。特に



交流会

ひらいている方々にご協力いただき、お茶、お琴の体験をさせていただきました。お琴では「桜」を演奏してくださいましたが、これまた中国でも馴染みの曲であり、一緒に演奏をして交流を深めました。今回、町内で開催している中国語講座の受講生も参加しており、中国語での会話を実践していました。正確に訳され、通訳の方も驚かれています。その後、近くの青年の方々が中心となる団体しんまちあきんどさんに協力をいただき、串焼きや焼きとうもろこし、そうめん流しを行い、一緒に昼食をとりました。さらに、射的やうちわ作



おもてなし交流会

女の子たちは写真を取り合ったりして、楽しんでいました。次に、町内でお茶やお琴の教室を

り、スイカ割りをして日本の夏を満喫しました。とても暑い日でしたが、笑顔の絶えない交流となりました。

今回の交流事業を通して、互いの生活的、文化的差異については、交流をしてみないとわからないということが一番に感じました。例えば、中国では、昼間に二十〜三十分休憩をする習慣があり、それを知らずに、午後のスケジュールを組んでいました。今後は、少し余裕を持った計画を立てたいと考えています。

また、今回の交流を含め、今までの交流活動を通じて、文化の違いを知り、受け入れることによって、中学生たちが世界に向けて目を養ってくれることを願っています。



おもてなし交流会



おもてなし交流会

# STUDENT EXCHANGE in 上海



## 上海参加生徒感想(上)

岡山県立岡山朝日高等学校

一年 小椋 将史

六日間で多くのことを学んだと思う。その中でもホームステイでは特に多くのことを学んだ。

ホームステイ先に移動の時、タクシーを使ったが、日本のようにドアは自動では開かない。さらに運転席の周りはアクリル板で仕切られていた。お金を払うとき、わずかな隙間から払っているのを見て、大変そうだと思った。日本では考えられないことだ。ステイ先の家は高層マンションで、地下道を通ると直接地下鉄の駅に着いたのが二つあった。ちなみに移動の大半は地下鉄を利用したが、ラッシュ時には想像を絶するほどの人数が乗っていることがあり、乗ろうとしても関係なしにドアは閉められる。また、いく



ら待っても乗れないことも普通で、学校での授業の時遅れて到着した。そのときは四本捨てた結果、あきらめてタクシーで行ったものの渋滞に巻き込まれた。

ホームステイの間困ったことがあった。それは言葉だ。まず英語が互いによく通じない。このことは次第にうまく通じるようになったが、それまでは非常に苦労した。時々バディは翻訳アプリを使っていたが、日本語を読んだ時意味が分らなかつた。仕方がないので単語で大体の意味を理解した。一番日本語を見て驚いたのは「あなたは洗面用具」だ。このとき自分は、「あなたは洗面用具がありますか」という意味としてとらえた。

次に、バディの次にかかわる機会の多かつたホストマザーが中国語しか話さなかつたことだ。これは意外と困ることはなかつた。なぜなら、だいたいの意味は動きや指差しているもので理解ができたからだ。さらに日本語と中国語で発音が似ているものがあつた。どうしてもわからないことはバディを通じて理解した。

今回学んだことを今後の生活に生かしていきたいと思う。

### 岡山県立倉敷青陵高等学校

上西 穂花

私が上海で過ごした六日間は、驚きの連続でした。

私はこの研修で初めて中国に行きました。中国は日本の隣にあるのに、私は中国の文化や家庭生活についてのイ

メージがまったくなかつたので、上海訪問はまるで未知の世界に飛び立つような感じで、とてもワクワクしました。そして、上海空港に着いた瞬間から、私は中国に圧倒される感じがたくさんありました。

まず初めに、飛行機の中から見上海空港の広さに驚かせられました。私達が飛び立った岡山空港の何倍も、何十倍もの広さで、これが中国なんだ！さすが中国だと思います。また人の多さも半端なく、世界人口が多い国だということを実感させられました。このように私は上海を訪問して、中国に驚かさされっぱなしでした。

上海に行つて、嬉しかったこともあります。それはホストファミリーの温かさです。私のバディは初めて会った日から、積極的に私に話しかけてくれました。私は恥ずかしがらずに、たくさんお話をすることを目標としていたので、それを果たすことができて、良かったです。でも、もつと英語を覚えたり、中国語を知っておけばより会話が弾んだと思うので、勉強を頑張ろうと思いました。ホストマザーとホストファミリーも色々な場所に連れて行ってくれたり、よく話しかけてくれたので、私が暇だなど思う時は一度もありませんでした。私はホームステイをして気付いたことがあります。それは、言葉は通じなくても、自分が感じることや相手が思っていることは、伝わるということです。私のステイ先のおばあちゃんは、中国語だけで私に話しかけてきました。私は中国語はまった



くわからないけど、おばあちゃんが私のために料理の説明をしてくれたり、喋りかけてくれるのを聞いていたら、なんだかおばあちゃんが言っていることが理解できたような気がしました。伝えようとする気持ちがあれば、言葉の壁なんてすぐになくせられるんだなと思いました。親切に接してくれた、わたしのホストファミリーに感謝！謝謝！

上海訪問をしてみて、中国と日本の良さを知ることができました。私は訪問最中、道を歩くのがとても怖くて、ビクビクしていました。なぜなら、中国の道路はバイクや自転車の数が多く、クラクションがいつもどこかで鳴り響いており、常に意識してないと、すぐにひかれてしまったかもしれないからです。また人混みの中ではスリや盗難にあうから、バックを前にかけておかなければなりません。上海

を訪問して、日本がどれだけ安全な国だということを改めて気づくことができました。

上海の地下鉄にはどの駅にも、人がホームに落ちないように、天井まで届く壁がありました。また、ビルに入るときや電車に乗るときには荷物検査をするところがよくありました。この様な防犯対策は必要に応じて、日本にも取り入れたいなと思いました。

私は上海を訪問してみて、今まで知らなかった皆さんのことに、気づくことができました。やっぱり自分の目で見てみるのがお互いの国を知る為には大事だと思います。日本人は中国人について、あまり良い印象を持っていないですが、自分の目で確かめてから、そういう善悪の判断をしてほしいと思いました。私は訪問前に中国人はいつも喧嘩をしている様な、勝手なイメージがありました。実際に訪れてみて、こんなことがわかりました。中国人はもともと声の大きい人が多いという事。これは私のホストファミリーにも当てはまりました。私は初めてステイ先の家を訪れたとき、私のホストファミリーはみんな喧嘩をしているのかなと思うときがありました。でもそれは喧嘩ではなく、ただ声の大きいだけだったので。それが言い合いのように聞こえて、勝手な悪いイメージを私はもっていました。でも、それは実際に訪問してみても間違いだということとがわかりました。やっぱり実際に自分の目で見るのが一番です！私は上海訪問をしてこう思いました。

上海で過ごした六日間は、新鮮でちよっぴり怖くて楽しくて、あつという間に過ぎて行きました。そして最高の思い出ができました。今回の訪問で発見したことを日本の友達にも伝えていきたいと思えます。それが、日中間係が少しでも良くなることに繋がってくれれば幸いです。

最後に、この訪問に関わった全ての皆さんに感謝します。

本当にありがとうございます。

### 就実高等学校

三年 川元 真知子

私は、カナダへの短期留学に行き、自分から行動すれば何か得られると学び、STUDENT EXCHANGE in 上海に応募しました。米国だけでなくアジア諸国に実際に行つて違う様子、文化や語学に触れてみたいと思ったからです。

中国に出発する日が近付くにつれ、過去に悲しい歴史がある日中の関係にあまりいい印象を持っていなかった私は、本当に意義のある五日間にできるだろうかと不安な気持ちでいました。しかし、中国で毎日過ごしていくなかで、バディや中国の生徒と仲良くなれたことや、町の人の優しさ、活気に溢れている町並みを見て来て良かったと心から思いました。

上海・蘇州の観光では中国の新たな魅力を発見しました。上海雑技団では、今まで見たこともないスケールの演出の数々にとても感動しました。そして、中国のお寺は日本の雰囲気とは違う所があり、空間や色彩に迫力があ

りました。

バディは日本語が上手で、日本語で話しかけてくれて、凄く刺激を受けました。町に連れて行ってくれて歩きながらいろんな話をして、本当に楽しい時間を過ごせました。

中国に来て体調を崩してしまい、ホームステイが体験できなかったのが残念でしたが、次に日本に来るときにもっと仲を深めたいと思います。

実際に中国に行つたことで気付いた事がたくさんありました。今回のメンバーと出会えたことは本当に刺激になりました。これから将来に向けて上海で学んだことを生かして頑張っていきたいと思えます。

最後になりましたが、STUDENT EXCHANGE in 上海に参加させていただき、貴重な経験をし、このような素晴らしい機会を下さった関係者の方々に感謝しています。ありがとうございます。



# 中国へのご案内

## -「STUDENT EXCHANGE in 上海」のために-

岡山商科大学 経済学部 教授 <sup>コン</sup> <sup>ウェイ</sup> 宮 偉

### 特別 寄稿

この原稿は、「STUDENT EXCHANGE in 上海」の第二回研修会の時に、宮偉教授に講演していただいた内容を文章にして寄稿いただいた。

岡山県日中教育交流協議会の会長岡本啓先生から、中国の高校生と交流をする日本の高校生のために何か話してくれと言われた。「STUDENT EXCHANGE in 上海」のみならず、ほとんど中国が初めての方なので、いろいろ悩んだ末、中国・中国人・中国の高校生という三つのレベルから紹介しようということになったが、ここでは紙幅の都合上、中日高校生の違いを中心に簡単に紹介させていただくことにする。

### 一、中国の高校生

どこの国の学生にも学生としての共通性が見られるが、ここでは、中国と日本で特に相違点が大いところをいくつか紹介する。

#### 1 制服

一番目立つのは服装であろう。日本の小・中・高学生は、ほとんどどの学校でも制服がある。多様性があると同時にデザインに凝っているものも多く、制服で学校を選ぶ学生さえいると言われるが、中国の学生には、制服はあるにはあるが、「サイズの違いのほかに、デザイン的に男女の区別が何も

ない、ゆったりとしたジャージ」だから、「最もオーソドックスな制服は間違いなく中国だ」と、中国メディアの新華社も認めるぐらいである ([http://news.k618.cn/world/201603/20160327\\_7008922.html](http://news.k618.cn/world/201603/20160327_7008922.html))。制服はもともと個性を否定し、協調性を養うなどの文化的意味が付与されるが、中国人学生の場合は、日本人以上にその個性を認められていないようである。

#### 2 部活

土日祝日などの休日に、道具をもって剣道や野球、サッカーなどの部活に行く日本人学生の姿が、来日中国人の目に一番異様に映るだろう。中国なら、平日ではもちろんのこと、休日でもほとんどの学生が休めずに塾に通うのはむしろ当たり前のことである。学校の時間割表に体育や美術、音楽などの課程は形としてあるが、「体育の先生は今日はちよつと…」という合言葉で、自然に国語や数学、英語など大学受験により重要な授業になつてしまふ。最近の中国では勉強以外を重視するいわゆる「素質教育」を推進しようとしているが、あまり目立った変化が見られないのが現状である。

#### 3 恋愛

日本の文学作品、テレビ番組などに、学生の恋愛を語るものが多くあるが、どうも日本では学生の恋愛禁止を明言する学校が少ないようである。と

ころが中国では、勉強の妨げになるからなどを理由に、はっきり校則にする学校が多い。河南省にある高校の「八条禁令（ご法度八条）」には、「6. 恋愛（手をつなぐ）禁止。発見した場合、初回は一週間在宅反省、二回目は退学処分とする」のがあって、メディアを賑わしたこともある。

#### 4 人間関係

今どきの小・中・高生はほとんど一人っ子政策の時代の子供。その分、友達関係を特に重視している。流行語として「闺蜜（ぐいみい）」と「好基友（はおじいよう）」がある。「闺蜜」は女性の同性の親友を指す。中国人の人間関係では、親密度が深まるとスキンシップが増えるが、「闺蜜」レベルになると、もう「同性愛」なのかと疑うくらいの密着具合だが、同性愛者という意味やニュアンスは全くない。「好基友」とはもともと男性の同性愛者の意味だったが、ごく親しい男友達のことを指している。中国人学生は誰にも「闺蜜」か「好基友」がいるだろう。

#### 5 自己主張

中国は、人口が多いのに加えて、ほとんど一人っ子なので、どうしても自己中心主義になりがちなところがある。大人もみな「望子成龍（子供に龍のようなずば抜けたものになつてほしい）」という強い要望があるので、幼稚園から子供の競争意識を培うことに

懸命である。そのためか、中国の子供たちは競争意識こそ強いが、他人との協調意識がどうも足りないようである。

## 6 勉強漬けの生活

中国の高校生の教室を見てわかように、学生はほとんど無数の教科書、参考書、試験ペーパーに埋まっただけの生活



である。高校生特に受験生の一日は、わずかな寝食の時間以外に、ほとんど勉強漬けの生活が強いられている。勉強さえよくできればすべてよしという感じで、学生が「勉強の機器」になっ

## 7 大学受験

そこまで勉強する唯一の目的は、大学受験である。大学受験は、中国の高

校生にとって、目標であり、手段でもある。「良い大学に受からなければ、人生はだめになる」という考えが根強くあるので、ちょっとしたでもランクが上の大学に受かるように、ただただ一生懸命に勉強するしかない。社会全体が、何が何でも大学受験を中心に動く。大学受験日に、交通警察総動員で、騒音を出すような作業はすべて中止というくらいである。

## 8 勉強ばかり?

ところが、中国の学生は勉強以外にもできないか、というところ、もちろんそうではない。中国人は裕福な家庭ほど、子供を幼稚園児から各種芸術・体育系の教室に入れたりする。中国人学生は、ほとんど誰でも美術か楽器・体育系の何か「芸」をもっている。ただし、それは小学校までがほとんど。中学に入ってからもう勉強一筋になっ

## 二、違いがあつて当然

以上、中日高校生の違いを、日本人の立場に立って紹介をした。反対に、中国人学生の立場に立ってみると、当然日本人の学生にも異様とさえ言える特徴があるに違いない。国が違うし、文化も民族も歴史も違うから、ヒトに違いがあつてむしろ当たり前のことである。違いがあるからこそ世界ができる。そして、違いがあるからこそお互

いに交流する必要があるわけである。中国と日本という国は、よく「一衣帯水の隣国」といわれている。近隣同士であるがゆえに、隣人付き合いをよくするのが当然であるが、どうも「違いがあつてうまくいっていないのは事実として認めないといけない。二〇一五年九月二日に発表された米調査機関ピュー・リサーチ・センターの調査結果でも、中国と日本はいずれもお互いのことを一番好意的に見ていないことがデータで示されている。  
(<http://newsphere.jp/world-report/20150904-1/>参照)  
隣人づきあいを何とかうまくやらないといけない。

## 三、話せば分かる

岡山市には岡山人が誇るべき歴史人物がいる。犬養毅である。その犬養毅の名言には、「話せば分かる」というのがある。

犬養は、一貫して政党政治の確立と普通選挙制度の実現に尽力した人物として知られる。話によると、一九三二年五月十五日夕方、軍の一部がクーデターを起こして、ピストルをふりかざして犬養首相官邸に乱入してきたとき、犬養は少しも慌てず、「話せば分かる」と共に将校たちを応接室に案内したが、無残にも銃撃された。犬養はそれでも、「いま撃つた男を連れてこい。よく話して聞かすから」と言ったそうである。最期まで言論で説得しようとする犬養らしい姿に感動させられる。

「話せば分かる」。相手の話をちゃんと聞けば相手のことがわかるはず。交流してはじめてお互いに対して理解を深めるはずである。

中日間には、いろいろ問題があつても、隣国である。隣人だからこそ、もっと交流が必要である。そして、交流してはじめてお互いに対する理解を深めることができる。ここに、岡山県日中教育交流協議会主催の「STUDENT EXCHANGE in 上海」のねらいがあるだろう。

「STUDENT EXCHANGE in 上海」のような、草の根の交流が、中日友好に大きくつながることを願ってやまない。

岡山で生まれて28年

## お客様に満足いただける旅をサポートします

- 中国東方航空で上海へ! 上海経由で中国・世界各地へ!
- 大韓航空で韓国ソウルへ! 仁川空港経由で中国・世界各地へ!
- お得なパッケージツアー(上海・台北・香港・大連・青島など)
- 特徴あるこだわりのツアー  
中国、ミャンマー、ラオス、ベトナムなど皆様のご要望に沿った旅行企画をいたします。安心の添乗員同行ツアーです。
- 日中教育交流のサポート  
企画から旅行実施、中国語のできる添乗員までサポートします。

★お気軽に  
お問合せ下さい



株式会社アジア・コミュニケーションズ

ASIA.COM 観光庁長官登録旅行業第1816号 ©JATA正会員 IATA公認

岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル4F(〒700-0902)

TEL (086) 231-0334 FAX (086) 222-7732

<http://www.asicom.co.jp> Eメール [info@asicom.co.jp](mailto:info@asicom.co.jp)



# 岡山商科大学孔子学院

## 中国語講座

2016年度後期 8レベル展開 計18回  
(2016年9月20日～2017年2月20日)  
※途中からの受講可能

## 特訓コース

新HSK試験5級をめざす  
月・水・金曜日 計90回

## 子供向けコース

毎週土曜日(11:00～12:00)  
全15回

## 出張中国語講座

簡単な日常会話から本格ビジネス中国語まで  
対応します。内容は相談に応じて調整いたします。

## 出張中国文化講座 (開講料無料)

岡山県内の小学校、中学校、高校及び公民館を  
対象とした出前中国文化講座を開講いたします。

お問い合わせ／お申し込み 岡山商科大学孔子学院 〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1  
TEL 086-252-0642 (内線521) FAX 086-255-6947 <http://www.osu.ac.jp/koushi/>



学校法人 中国学園

# 中国学園大学

- 現代生活学部人間栄養学科 ●子ども学部子ども学科 ●国際教養学部国際教養学科
- 大学院(現代生活学研究科 子ども学研究科)

# 中国短期大学

- 総合生活学科 ●保育科 ●情報ビジネス学科 ●専攻科(介護福祉専攻)

〒701-0197 岡山市北区庭瀬83番地 TEL086-293-1100 FAX086-293-3993  
<http://www.cjc.ac.jp/> E-mail t-bosyu@cjc.ac.jp

学校法人 加計学園

# 岡山理科大学附属中学校

ひとりひとりの能力を最大限に引き出し、自らの夢を実現しようとする人間を育てます。

中高一貫クラス：中高6年間をフルに活用して、難関国公立大学進学をめざします。

高校進学クラス：岡山県内初！私立の中学校から難関公立高校・難関私立高校進学をめざします。

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1  
岡山理科大学附属中学・高等学校 中高入試広報室  
TEL (086)256-8527 FAX (086)256-8526



# 「よく生きる」 を考える。

株式会社ベネッセホールディングス <http://www.benesse-hd.co.jp/>

岡山本社 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17 (東京本部) 〒163-0416 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング16F



Yayoi Kusama "Pumpkin" Photo:Shigeo Anzai

岡山県日中教育交流協議会 会報『悠久』第49号

発行：平成28年9月／発行者：岡山県日中教育交流協議会 編集委員会  
〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階 TEL (086) 225-5083 / FAX (086) 225-5041